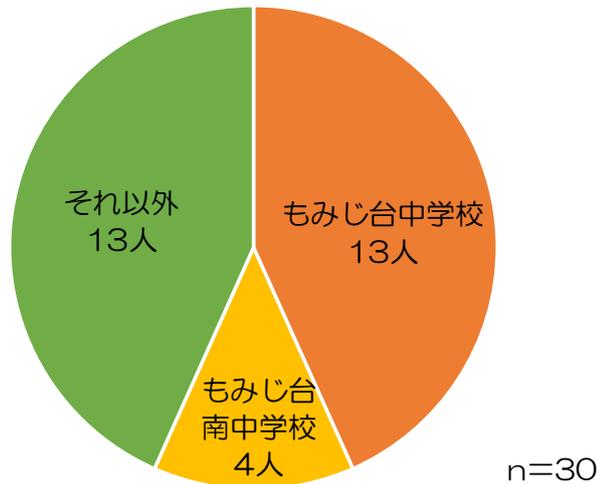


「統合後のもみじ台中学校についてのアンケート」

教職員 結果

【質問1】令和3（2021）年度の勤務校はどちらですか。〈択一回答〉



【質問2】（生徒の様子の変化について）

学校が統合して、約8か月が経過します。統合前や統合当初と比較し、生徒の様子はどのように変わりましたか。例のような観点から、良い点や今後配慮を要すると思われる点等について、お答えください。

【例：学校への慣れ、友人関係、生活面・健康面、授業や行事の雰囲気・取組への意欲や姿勢 等】

学校生活に関すること

- ・小学校が同じだった子がいるおかげか、SNS で簡単につながれる時代になったおかげか分からないが、友人関係のトラブルは少なく、仲良くなれたと思う。陸上競技会や学校祭、合唱等の行事も良かった。ただし、新しい環境になじめない子もいるので、そのケアやフォローは継続して必要だと考える。全体的には生徒が増えたことによるプラス面が多いと思う。
- ・行事への取組も含めて、学校全体に活気が出ていていると感じるが、目に見えない部分で精神的な負担は感じられる。特にもみじ台南中出身の生徒の側に立つ意識を忘れない気持ちが大切と感じる
- ・音楽の授業では過去2年間でなるべく合わせるようにしたが、それでも合わせられなかった部分に多くの時間を使って調整した。統合前に心配したが、子どもの方が人間関係を積極的に作っていた感じがした。
- ・思いのほか適応しているようにみえた。しかしうまく適応できない生徒も数名いた。

- 4月当初、旧もみじ台中の生徒は例えば廊下ですれちがった時「こんにちは」と一言挨拶を言うことが出来たが、旧もみじ台南中の生徒はなかなか挨拶するのが難しいように思えた。
- 人間関係をうまく築けず悩む生徒が多く居る（生徒間、対教職員）。生徒をよく理解した教職員を多く配置した方がいい。
- 行事に積極的に参加している気がする。
- 大人が心配するより、子どもたちは早く適応していた。授業も行事も以前より活気があり、全体的に良い雰囲気とを感じる。

通学に関すること

- 生徒の様子は友人関係や学校生活への慣れなど問題なかったと思います。スクールバスなど、親から問い合わせも多く、距離的にもかなり遠い生徒が多いので配慮すべきだったと思います。
- 校則のすり合わせ。通学時間が延びる生徒の再登校の仕組みづくり。
- 校区が広がったため通学が大変そうですが、人数が増えたので活気が出てきたと思います。もみじ台、もみじ台南それぞれの出身があると思いますが、打ち解け合っていると感じます。
- 12月現在において、学校にも慣れ、友達作りには多少時間はかかったものの楽しそうに生活している。家から遠くなったので健康面が多少心配ではあるものの特に大きな問題はないと見ている。もみじ台南と異なる教育課程であったが、意欲をもって取り組んでいる。

その他

- 学校規模としては各学年4学級くらいが適切だと思われる。統合しても、まだ学校規模としては小さい。統合前よりも人数が増えて活気があるのは良いところだと思われる。
- クラスが増えて学校の雰囲気が良くなったように感じます。旧もみじ台南中生徒は昨年度統合準備のため図書室が利用できない期間が長かったようです。その影響か、読書好きな生徒がやや少ない印象があります。統合準備中でも読書環境を維持する方法を考えておく必要があると感じました。

【質問3】（教職員の取組等について）

統合前・統合直後から様々な取組に苦心されたことと思います。これまでの取組について、具体的にどのようなものがあり、どのように対応されたか、良かった点や今後の取組に向けた改善点などについてお聞かせください。

生徒への取組
<ul style="list-style-type: none">・スクールカウンセラーとして統合にあたってできる業務はあまり多くありませんでしたが、もみじ台南中 SC の方と情報共有し、引継ぎしてもらいました。その際、もみじ台南中の雰囲気等も教えていただき、幅広くサポートできるような体制を整えることを意識しました。・年度末、年度初めの事務的業務はかなりの負担増でした。通学に 50 分ほどかかる生徒もおり、具合が悪く早退する生徒への対応に難しさがあります。1 年時から、もみじ台で取り組んでいる「性と命の健康教育」については内容を工夫しました。・統合後の通学区域に合わせた小学校からの情報交流・引き継ぎが重要だと感じた。
学校づくりへの取組
<ul style="list-style-type: none">・母体となる中学校はあっても、他の学校から来る先生方が多いので、あらゆる行事を始めから作らなければならず手間がかかる。また、共通認識が違うので話し合いが必要だが、時間の余裕がない。見通しがあまくなり、急な変更や思い付きに振り回されることもあった。・chromebook の ID を統合するのが大変だった（まなびポケットも同じ。市教委の補助があったら良かった）。授業進度や内容を調整することが大変だった。今後、市内で統合する場合は、2 年以上かけて統合する必要があると感じた。・新設校とはいえ、近未来にまた小中一貫校としてリスタートする可能性を見据える必要がある。10 年間の学校づくりのビジョン（地域共生、多様性、自主性、笑顔など）を明確に示し、共有していくことに力を尽くすことで小中一貫につなげていきたい。・統合にあたって交流会や合同行事があり、新鮮だったと思う。・履修漏れがないよう、一年前から教科会を行ったのは良かった。
事務的な取組
<ul style="list-style-type: none">・統合までの教務係でした。統合後は、生徒の実情に合わせて柔軟な対応が必要となる場合もあるので、普通の新設校のスタートのようにしっかりと物事・方針を決めての始まりではなく、4 月から色々と決めていたのが、今になり良かったと判断できました。・統合支援システムの転入処理を一人ずつすることになった。一括で行うことはできないか。・例年より職員の異動が多く、異動事務が大変だった。
その他
<ul style="list-style-type: none">・統合にあたり学校図書館ではもみじ台南中から図書 2,300 冊（段ボール 100 箱）と書架等の備品を受け入れました。搬入日は春休み中でしたが、担当教職員が異動のため不在で、司書一人で全ての対応をしなければならずとても大変でした。決められた勤務時間では短すぎて対応できませんでした。・荷造りの業務が本当に負担であった。個人情報には配慮しながらもある程度マニュアルを作成して業者を入れるべきでは。・不要物品の洗い出し。市教委で予算確保されてなかったため交渉が必要になり大変だった。

【質問4】（その他）

上記質問2・3のほか、学校統合についてご意見等がございましたら、ご自由に記載してください。

主な意見

- もみじ台南中の校舎を活用するにしても、予算を確保しない段階での統合は時期尚早。他校の統合例と同じように予算要求するべきだと思います。統合してからの改築も、受入校の体制が万全ではないので、あと1年余裕をもったスケジュールの方が良いと思います。
- 当時の校長先生から、統合のための特別な予算は無いというお話があり、とても驚きました。どちらの学校でも昭和50年代に購入した書架を使用していたので、状況にあわせて書架や図書を購入できるよう予算をつけていただきたかったです。
- 学校統合により、南中の子たちにとっては新しい環境で通学にも時間がかかるなど大変な面もありますが、多くの人に出会えたことは今後にとってもメリットだと思います。
- 校区が広くなり、登下校に時間がかかるため、放課後の下校時間が早めに設定されている。そのため、日課に余裕もない（清掃や朝・帰りの学活、放課後の活動時間が短い）。登下校にバス等を使う家庭の経済的な負担も気になる（車で送迎している家庭もある）。
- ご配慮いただいておりますが、相談支援パートナーや学びのサポーターについては少なくとも統合前からの生徒が在籍している間（2年間）は2校分の活動時間教が必要で、全体的にそうなのかもしれないが、年齢層が若すぎて不安になった。はたから見れば吸収合併のような形である。校名を変えることなど検討しても良かったかもしれない。
- 統合前の学校の先生がいることが、生徒の安心感や支えになっていると思う。特に少人数の学校の先生が統合後もいることで、4・5月の人間関係が作られていない時期や心が弱くなった時の支えになっていたと思う。標準服が複数あって煩雑だと思ったが、生徒の中ではほとんど違和感はなかった。大人が思うよりも気にしていないのだと思った。
- 統合前後は通常業務以外に、統合における業務が多くある。そのため教職員数の増加など、勤務状況の改善が必要だと強く感じている。
- 部活動に関して、準備不足を感じた。今年度に入り苦戦したことが多かった（残すと言っていた部活が設立できなかつたり、短期間で休部になってしまつたり）。
- 貴重な経験をさせていただきましたが、学校全体の雰囲気はこれほど明るく温かく変化したのは教職員の方々の努力によるところがとても大きいと感じています。今後も現在の状況が続くと良いと思います。また、先生方のご負担が増えすぎないように注意しながら、私にできる限りのサポートができるよう努力してまいります。
- PTAの保護者との交流の中で「先生、統合してよかったですね」「いい風が吹いていますね」と言われました。子どもたちがいろいろな行事でのいろいろな場面でイキイキとした表情が見られ、家庭においても学校の話が話題になっていたようです。困難なこともありましたが良かったことのほうが多く、統合して良かったと私自身も感じています（子ども達、PTA、同僚に感謝です）。